

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実						
施策の基本方針								
<p>厳しい雇用状況が続く中において、安心して働ける環境づくりを進めるため、5万人の雇用創出に取り組むとともに、就職に有利な資格取得の支援や若者に着目した就業支援の取り組みを推進します。また、日常の暮らしの安心を確保するため、地域の防火防犯に取り組むまちづくり活動を支援するとともに、冬の市民生活ルールの確立や除排雪体制の維持・安定化に取り組めます。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 就労支援と安心して働ける環境づくりの推進								
	就業サポートセンター等事業	108,000	0	42,000			42,000	38.9
	企業向け若年層雇用安定助成事業	193,000	10,364	43,600			53,964	28.0
	若年層就業促進事業	16,000	3,750	4,313			8,063	50.4
	職業観育成事業	20,000	2,980	5,000			7,980	39.9
	母子家庭自立支援給付金事業	133,000	11,844	31,104			42,948	32.3
	職業能力開発サポート事業	189,000	47,098	47,000			94,098	49.8
	地域雇用創造推進事業	—	0	0			0	—
	就労ボランティア体験事業	106,000	0	13,460			13,460	12.7
	公契約条例の制定	—	0	0			0	—
施策2 日常の身近な暮らしの安心の確保								
	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業	28,000	5,215	6,400			11,615	41.5
	消費者被害防止ネットワーク事業	20,000	5,159	5,294			10,453	52.3
	女性の安心サポート事業	29,000	4,107	10,062			14,169	48.9
	安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業	37,000	14,032	7,972			22,004	59.5
	学校給食における衛生管理の充実・向上【再掲】	165,000	5,050	58,600			63,650	38.6
	地下鉄南北線可動式ホーム柵設置事業	3,982,000	1,356,286	2,883,177			4,239,463	106.5
	救急安心都市さっぽろ推進事業	80,000	0	43,500			43,500	54.4
施策3 除排雪体制の確保と冬の市民生活ルールの確立								
	地域と創る冬みち事業	239,000	53,776	60,200			113,976	47.7
	冬のみちづくりプラン推進事業	36,000	9,010	9,000			18,010	50.0
	除排雪体制の維持・安定化	—	0	0			0	—
	住民との協働による安心できる冬のくらし対策	4,000	1,928	1,100			3,028	75.7
重点課題合計		5,385,000	1,530,599	3,271,782	0	0	4,802,381	89.2

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	【企業向け若年層雇用安定助成事業】減:助成金利用者が見込みより少なかったため。
24年度	
4年間を通して	

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街				
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 就労支援と安心して働ける環境づくりの推進						
就業サポートセンター等事業						
1 職業相談窓口利用者数	122,750人	143,018人				170,000人
2 職業相談窓口における就職者数	3,580人	4,349人				5,200人
企業向け若年層雇用安定助成事業						
3 助成金利用による正規雇用者数(累計)	—	25人				800人
若年層就業促進事業						
4 参加者数	1,304人	1,601人				1,420人
5 就職率	41.6%	55.45%				50%
職業観育成事業						
6 疑似体験プログラムを実施したクラス数	—	10クラス				18クラス
母子家庭自立支援給付金事業						
7 資格取得者数	—	7人				66人
職業能力開発サポート事業						
8 雇用者数	—	128人				192人
地域雇用創造推進事業						
9 事業利用者数	—	3,424人				2,450人 (25年度)
10 雇用創出数	—	654人				425人 (25年度)
就労ボランティア体験事業						
11 就労ボランティア体験事業参加者数	8人	36人				400人
公契約条例の制定						
12 公契約条例の制定	—	継続審査				制定 (23年度)

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 日常の身近な暮らしの安心の確保							
犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業							
13 地域防犯活動の枠組みに参加した事業者数		—	226団体・社				100団体・社
消費者被害防止ネットワーク事業							
14 障がいのある人向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施区数		—	3区				10区 (25年度)
女性の安心サポート事業							
15 札幌市配偶者暴力相談センター相談件数		1,204件	1,249件				1,000件
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業							
16 (仮称)食の安全・安心推進条例の制定		—	—				制定 (24年度)
学校給食における衛生管理の充実・向上							
17 汚染区域と非汚染区域を明確に区分している学校		16校	20校				98校
地下鉄南北線可動式ホーム柵設置事業							
18 南北線全駅への可動式ホーム柵設置		—	設置準備				16駅 (24年度)
救急安心都市さっぽろ推進事業							
19 救急搬送中における心肺機能停止傷病者		116症例	122症例				58症例

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 除排雪体制の確保と冬の市民生活ルール確立							
地域と創る冬みち事業							
20 事業に参画した町内会数		565町内会 (30%)	838町内会 (45%)				生活道路を有する全町内会
冬のみちづくりプラン推進事業							
21 「冬の暮らしガイド」を読んだことがある市民の割合		49.6%	調査中 (24年11月予定)				60%
22 札幌市雪対策のホームページを見たことがある市民の割合		14.7%	調査中 (24年11月予定)				30%
除排雪体制の維持・安定化							
23 夏冬一体化による通年委託の試行実施		5区	10区				10区 (23年度)
住民との協働による安心できる冬の暮らし対策							
24 FAXなどにより情報伝達を行う単位町内会数		—	222町内会				310町内会 (24年度)
25 砂入りペットボトル作成参加団体数		—	14団体				40団体

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
30	札幌市が「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思う人の割合	51.4% (21年度)	44.4% (23年度)				60% (26年度)
		防犯教室の開催等の取り組みを進めてきたところだが、調査時期と近い時期に、放火や車上狙い等の事件が頻発したこともあり、数値の低下に影響したと思われる。					
31	食の安全に関心があり、注意を払っている人の割合	68.5% (21年度)	80.5% (23年度)				80% (26年度)
		市民参加型事業(さっぽろ食の安全・安心モニター等)や、食の安全・安心への関心と理解深化を目的とする事業(食の安全・安心フェア等)を展開をすることで、市民意識の変化に寄与したと思われる。					
32	地域の雪置き場としての公園などの有効利用、その後の雪割り・清掃などに協力したことがある人の割合	14.5% (21年度)	36.6% (23年度)				20% (26年度)
		雪対策に関し、出前講座等による情報発信(「地域と創る冬みち事業」)等により、地域への周知・啓発を行ったことが、数値の上昇に寄与したと思われる。					
33	よくやっていると思う施策(市政に対する評価)のうち除雪に関する事	21.3% (22年度)	16.2% (23年度)				40% (26年度)
		平成22年度、局地的な大雪にみまわれたことが、数値低下の要因の1つと考えられるが、平成23年度より大雪時の除雪体制等の対策検討を実施しており、今後の体制整備により数値の上昇が見込まれる。					
社会成果指標							
34	雇用創出数(累計)	— (22年度)	13,976人 (23年度)				50,000人 (26年度)
		目標に向けて上昇率は約28%となり、順調に推移しており、今後も引き続き、計画事業等を着実に実施していくことにより、目標値の達成を目指していく。					
35	地域防犯活動に参加している人の割合	20.4% (22年度)	21.7% (23年度)				25% (26年度)
		厚別区において「厚別区防犯ネットワーク」を設立する等、地域での情報共有や連携を図る動きがあったことが、全区的に影響を与え、数値上昇をもたらしたと考えられる。					
36	除雪方法等を周知し理解と協力を促すために情報共有を進めた町内会の割合	30% (22年度)	45.4% (23年度)				100% (26年度)
		雪対策について市民懇談会を実施する等の取り組み(「地域と創る冬みち事業」)等により、除雪方法等について情報共有を進めた町内会数が順調に増加している。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	就労支援と安心して働ける環境づくりの推進	
23年度の主な取組内容(実績)		
若年層(25～34歳)を雇用する事業者への助成金支給(25人分)。	若年求職者を対象に、社会人基礎力研修、合同企業説明会等を実施。	
職業観を育成する疑似体験プログラムをモデル校1校に実施。	「Skipさっぽろ」での資格取得を通じた就労支援等を実施。	
24年度の主な取組内容(予定)		
ハローワークとの協力により、市内3カ所(中央・東・南)の職業相談コーナーをあいワーク(求職者支援センター)に移行。	若年層を雇用する事業者への助成金支給(200人分)。	
若年求職者を対象に社会人基礎力研修、合同企業説明会等を継続実施。	職業観を育成する疑似体験プログラムをモデル校1校に継続実施。	
「Skipさっぽろ」での資格取得を通じた就労支援等を継続実施。	長期末就労の生活保護受給者に対する就業体験的ボランティアの実施規模の拡大(H23:1区36人→H24:3区120人)。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【若年層就業促進事業】23年度は171人が就職し、「雇用創出数」の増加に対し一定の成果があった。しかし、就職につながらなかった受講生も存在することから、引き続き支援を行う必要がある。</p> <p>【職業能力開発サポート事業】年度中途からの開始となったものの、就職者の87%が正社員又は社会保険・労働保険の加入を伴うフルタイムで就職しており、市民が安心して働ける環境づくりに貢献している。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【就業サポートセンター等事業】就業サポートセンターなど全区に設置した職業相談窓口を拠点として、ハローワークや関係機関のほか福祉関係窓口とも連携・協力しながら、求職者と企業とのマッチング強化を行うことで、雇用促進に努める。</p> <p>【若年層就業促進事業】求職者に対し幅広く周知を行い、研修事業及び合同企業説明会への参加者を増やすとともに合同企業説明会の開催回数も増やし、若年層の就職の機会を広げることで、「雇用創出数」の向上を目指していく。</p>		
施策2	日常の身近な暮らしの安心の確保	
23年度の主な取組内容(実績)		
地域防犯活動として「地域安全サポーターズ」を発足。	障がいのある方向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施(3区)。	
性暴力被害相談に加え、DV相談センター相談業務を拡充。	食の安全・安心を推進するための条例制定に向けて、外部委員会の運営を行い検討を実施。	
地下鉄南北線全駅の可動式ホーム柵設置に向けた工事着手。		
24年度の主な取組内容(予定)		
「地域安全サポーターズ」の積極的なPRを実施。	障がいのある方向けの消費者被害防止ネットワーク事業の拡大(3区→5区)。	
性暴力被害相談、DV相談センター相談業務を継続。	食の安全・安心を推進するための条例策定。	
地下鉄南北線の駅に可動式ホーム柵の設置工事を継続実施。	救命率向上や後遺症軽減を図るため、救急救命士による処置拡大等を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業】悪質な犯罪件数を減少させるため、地域住民や事業者の地域安全活動をより活発にすることで、犯罪抑止力を高めていく。</p> <p>【消費者被害防止ネットワーク事業】本事業の実施により、見守る立場の方からの相談受付が可能となり、これまで潜在化していた高齢者及び障がい者の消費者被害救済につながっており、着実に実施していく必要がある。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【女性の安心サポート事業】新たな被害者を出さないよう未然防止教育が重要なことから、事業継続に加え、積極的な広報活動を行うことで、学校などの教育機関とともに、若年層への啓発を強化していく。</p> <p>【安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業】食の安全・安心を推進する条例を策定し、市民・事業者と連携・協働し、取り組みを強化することで、市民の食の安全・安心に対する関心の向上を目指す。</p>		

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	3	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策3	除排雪体制の確保と冬の市民生活ルールの確立	
23年度の主な取組内容(実績)		
雪対策に対する情報発信、市民懇談会を実施。		雪対策の現状や取り組みを広く周知する広報誌等の作成。
除排雪従業者の通年雇用促進のため、10区にて夏冬通年委託を試行実施。		
24年度の主な取組内容(予定)		
雪対策に対する市民懇談会の継続実施に加え、パネル展などを活用した情報発信を強化。		雪対策の現状や取り組みを広く周知する広報誌等の作成。
23年度に10区で実施した夏冬通年業務委託結果を検証し、今後の複数年委託契約について検討。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【地域と創る冬みち事業】市民参加による懇談会を開催するとともに、地域の課題解決に向けて、雪置き場としての公園の有効活用や砂まき活動等を地域と協働で進めており、「除雪方法等を周知し理解と協力を促すために情報共有を進めた町内会の割合」、「地域の雪置き場としての公園などの有効利用、その後の雪割り・清掃などに協力したことがある人の割合」の向上に貢献した。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【冬のみちづくりプラン推進事業】比較的雪の多い地域を中心とした地域と創る冬みち事業などの地域説明会の開催や、状況に応じた速やかな情報提供を実施し、大雪における除排雪体制の強化・地域との情報共有を図っていく。 【除排雪体制の維持・安定化】夏冬一体化の実施結果を検証し、除雪体制のさらなる安定に向けた取り組みを進めていく。		
協働の状況		
【職業能力開発サポート事業】職場実習の実施にあたり求人に伴う実習受入先の開拓を行うとともに、求人を希望している企業に対しては企業ニーズに合った求職者を紹介し、企業の採用活動支援を行った。		
【安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業】食の安全・安心について、理解と関心を高めてもらうために商業施設で集客イベント開催や市民と事業者の交流を図り、相互理解を促進するために市民交流事業や子ども食品Gメン体験事業等を実施した。		
【地域と創る冬みち事業】市民参加による懇談会(ワークショップ方式)を開催しており、懇談会開催後も協働で砂まき活動や路上駐車防止に係る啓発活動を実施。		
【冬のみちづくりプラン推進事業】市民に向けて、様々な媒体(広報誌・テレビ・ラジオ・イベント等)を用いて参加・協力を呼び掛けている。企業に対しても、協力企業をホームページ等で紹介することで、参加しやすい環境づくりに努めている。		